

宇都宮市立石井小学校第6学年児童質問紙調査

★傾向

○良好なもの ●課題が見られるもの

○「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の質問に対し肯定的な回答の割合が高い。規則正しい生活習慣が身に付いている児童が比較的多く、また、子供たちの生活を良くしようという保護者の意識も高いと言える。

○家の人と学校のことについて話すことや、家の人が授業参観や運動会など学校行事に来るかを問う質問にも、肯定的な回答が多く、家の人と学校についてよく話し、保護者も学校への関心が高いと言える。

○「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがあるか」の質問では、肯定的割合が栃木県や全国の割合を上回った。多くの児童が、学校でそのような体験をして満足感や充実感を感じていると考えられる。

●家で予習や復習を行っているかを問う質問では、どちらも栃木県の肯定的割合を下回った。家庭学習は個人差が大きく、今後一定時間取り組む習慣化を図る必要がある。

●「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」の質問では、肯定的な回答の割合が栃木県や全国の割合を下回った。目標を持って最後までやり遂げる意識や経験が少ないことが考えられる。

●「友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意ですか」の質問では、肯定的割合はあまり高くないため、表現力育成のため、グループ学習など学び合いの場の充実を図っていく。

●「将来の夢や目標を持っていますか」「新聞やテレビのニュースを見ているか」の質問に対し肯定的回答があまり多くない。将来や社会への関心が低いことから、自分は何をしていくべきなのか、どんな社会を目指すのかなど、様々な機会を通して目標をもたせ取り組ませる必要がある。